



社団法人 茨城県放射線技師会

I N F O R M A T I O N

〒310-0851 水戸市千波町 1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

東日本大震災及び福島原子力発電所事故に思う

会長 横田 浩

3月11日に発生した東日本大震災におきまして被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、犠牲になられた方々に慎んでお悔やみ申し上げます。

被災地というと、岩手・宮城・福島と思いがちですが、茨城県も県北及び沿岸部だけでなく内陸部においても被害が甚大な地区があり、損傷が激しい病院も多いとの話しも伺いますし、自宅の屋根や塀が壊れても修繕も間に合わないとの声も聞きます。水戸の街を歩いても道路の亀裂や傾いた電柱が目立ち、茨城も被災地なんだなとつくづく感じさせます。また、日本の原発は多重防護だから安全で、地震に対する安全性も高い世界一安全な原発であったはずですが、現在も収拾の目処がたたない程の事態となっており、一日も早い収束を望むばかりです。飲み水から規制値を超える放射線が検出されたから飲まないようにとか、牛乳から放射線、ほうれん草から放射線と言われれば、毎日食べ続けたとしても心配はないと官房長官が話しても説得力はないと思いますし、汚染水を海に放流したとの報道を見ては、今後どのような影響が出てくるのかが心配されます。

茨城県放射線技師会では、先の東海村臨界事故を機に、このような災害に向けて管理士部会で災害対応の研修を重ねてきた訳ですが、今回、自身の施設が被災してしまっは他県に手伝いに行く余裕もなく、かろうじて県庁保健予防課の要望で水戸保健所と土浦保健所にサーベイヤーを派遣するに留まっており、隣接する福島県の災害に手を差し延べられない無力感を感じております。

今回の災害で痛感しましたが、ボランティア募集に協力したくても自身の仕事の関係で参加しがたいし、ボランティアとして出向した場合の処遇について、自施設と協議していないと参加しづらいという点がありますので、会員の皆様には、災害時の技術的対応の他にボランティアの処遇について病院側と協議しておく必要があると思います。

今回の地震の影響で、3月20日に予定していた学術大会は申し訳ありませんが開催できませんでした。予算総会も開催できない現況ですが、決算総会と同日開催を目下準備中です。毎年5月末に開催していた決算総会も、資料作成が遅れており日延べになるかも知れません。学術研究発表だけでも同日に開催したいと考えておりますが、会場の都合やその他を検討する必要があり確定できないでおります。これらの情報は逐次、ホームページ等でご案内申し上げますので、会員の皆様には、万障繰り合わせての参加をよろしくお願い致します。

未だ余震が収まらない状況ではありますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

《 第5回理事会報告 》

開催日時：H23年3月9日(水)18:10～

場所：茨城県放射線技師会事務所

出席：横田浩，長谷川光昭，鈴木達也，
小原孝夫，會澤敏広，小仁所圭子，
田中信一，野澤哲也，川又誠，
坂井朋夫，広瀬和夫，宮本勝美，
村木一夫，

委任：波多野浩嗣，仲田智彦，千葉登，
平井正幸，風見ひろみ

欠席：舘野誠，佐藤斉，中澤洋治，
田尻明裕

議長：横田浩

議事録作成：長谷川光昭

議事録署名人：小原孝夫，鈴木達也

会議開始時点出席理事13名，委任5名で理事会開催規定を満たすことが宣言され，議事に入った。

【議事】

【1】会長報告（横田会長）

- ・1月29日(土)に開催した日放技の基礎講習「X線CT検査」は、62名の申し込みがあり、57名が修了された。
- ・日放技「検査説明・相談推進委員会」より、検査説明書、同意書、検査承諾書の調査についての依頼が来ており、メールでもお願いしたが各施設の書類を3月31日までに送付してほしい。
- ・チーム医療に係る診療放射線技師業務に関する実態調査について、茨城県では現在回答が40件となったが、日放技ではもう少し回答数を増やしたいとのことなので、協力できる施設への呼びかけをお願いします。
- ・JART3月号に「公益社団法人移行に向けた代議員選挙」の案内が掲載された。茨城からは4名の代議員と1名の補欠代議員となっている。3月末日の受付締め切りを待って執行部で立候補者を調整する。

- ・第13回常務理事会議事録をメールにて理事に配信した。主な議題は以下のとおり。

国際会議での発表者を増やすための支援システム構築を目指す。臨床実習生のX線照射について検討会を立ち上げる。技師格を将来に活かす方向で検討する。社会人大学院奨学金制度を検討する。新しい会員カードを検討する。

【2】第31回茨城県技師学術大会について(鈴木副会長)

- ・学術大会の詳細について確認を行った。

(内容は大会準備委員会議事録参照) 承認

【3】会計より(川又理事)

- ・23年度予算案を作成した。研究会の旅費交通費を若干カットした。総会資料に訂正箇所があるが、正誤表を作成し当日配布、また、後日インフォメーションに掲載する予定である。・・・承認

【4】レディース委員会より(小仁所理事)

- ・来年度、レディース委員会のあり方を含めたアンケート調査を行う予定。その結果を踏まえて今後の活動を行っていく。・・・承認

【5】予算総会について(宮本理事)

- ・総会に出席できない会員は委任状を必ず提出すること。・・・承認

【6】ピンクリボン関係(坂井理事)

- ・5月8日(日)つくば国際会議場にて開催する。技師会は共催となっているので例年通り参加者を募集する。案内を学術大会、HP等で行う。・・・承認

【7】その他(横田会長)

- ・決算総会(5月29日)では新人研修会は併催せず、市民公開講座を併催する。

・・・承認

以上の議事がなされ議長が閉会を宣言した。

次回開催 5月11日(水)18:00～

《 会 告 》

1. 決算総会並びに予算総会開催の件

この度の大震災につき、県内の会員在籍医療施設においては、施設自体の被災及び災害に対する対応に追われていると判断し、3月に予定されていた予算総会の開催を中止と致しました。しかしながら茨城県放射線技師会を健全に運営し、また、公益法人化に移行していくため、定款に基づき平成22年度決算総会並びに平成23年度予算総会を下記日程で同日に開催することと致しましたので、ご了承をお願い致します。

日時：6月19日(日) 10時00分～12時00分

場所：茨城県総合福祉会館 大研修室

議事：平成22年度決算総会

平成23年度予算総会

技術セミナー(12時～)

「最新のFPD技術について」

出席、欠席にかかわらず決算・予算総会の出席票に必要事項を記入の上、投函下さいますようお願い致します。また、欠席の場合は、委任状に委任者の氏名を記入し、署名捺印の上必ず投函して下さい。詳細は会員に送付されます会告をご覧ください。

また、12時から「最新のFPD技術について」と題し、ランチョン形式で技術セミナーも合わせて開催致しますので、こちらの方も多数のご参加よろしくお願い致します。

《 お 知 ら せ 》

1. 第2回乳腺研究会のご案内

下記の日程にて『第2回乳腺研究会』を開催いたします。今回は『乳腺MRI』について筑波大学の那須克宏先生にご講演頂きます。また、新たにマンモグラフィ撮影を始める方を対象にポジショニングと日常管理についての理解を深めていただこうとフレッシューズセ

ミナーも企画いたしました。多数のご出席よろしくお願い致します。

日時：平成23年6月18日(土) 14:00～17:00

会場：茨城県立医療大学 112中講義室

会費：会員500円 非会員1000円

内容：フレッシューズセミナー

「日常的な装置の管理」

東京医大茨城医療センター 阿久津奈緒

「ポジショニングの基礎」

日立総合病院 放射線技術科 三村佳子

技術情報提供

『フォトンカウンティング技術を用いた

マンモグラフィ装置について』

キャノンマーケティングジャパン株式会社

特別講演

『今日の乳腺ルーチンMRIに求めら

れる minimum essential』

筑波大学放射線科 那須 克宏先生

問い合わせ：筑波大学附属病院 放射線部

宮田 真理子

Tel : 029(853)3729

《 行 事 報 告 》

1. 第1回放射線腫瘍研究会報告

第1回茨城放射線腫瘍研究会(後援：茨城県医師会、茨城県放射線技師会)が、2月26日つくば国際会議場にて開催されました。

県技師会より、放射線治療技術研究会が主に参加しました。

参加者は99名、医師、看護師、医学物理士、放射線技師など様々な職種の方々が参加され、活発な質疑応答がなされました。

設立趣意書

“がん”は日本人の死因の不動のトップであり今後少子高齢化社会が進むにつれ益々がん患者は増加すると予想されています。がん治療の最前線で重要な役割を果たしている放射線治療の患者数は、急激に増え続けています。その背景には、放射線治療が、形態・機能温存が図れ、身体への負担が少ないがん治

療法であり、三次元放射線治療や強度変調放射線治療、さらには粒子線治療など、近年の急速な放射線治療技術の進歩があります。この様な放射線治療に関する先進的技術を安全に使用し、最大の治療効果を得るには、高度な専門知識とともに、放射線治療に関わる人々の知見を集結し共有することが重要です。

そこで、茨城県および近隣の地域において放射線治療に関連する分野の関係者が一堂に会し、放射線腫瘍学およびこれに関連する研究の情報交換や促進をはかり学術の発展に寄与することを目的とし、茨城放射線腫瘍研究会を設立いたします。皆様の絶大なるご支援をよろしくお願いいたします。

発起人代表 櫻井 英幸 (筑波大学)



《 会 員 状 況 》

平成 23 年 4 月 22 日現在の会員数… 6 6 9 名
新入会員

越川 由佳理 水府病院

高田 健太 筑波大学附属病院

八木沼 大希 永井ひたちの森病院

①入会手続きについて、入金が確認できずにまだ入会完了できない方がおります。後輩で入会手続きされたのをご存知の方は一声掛けて入金をして頂くようお願いいたします。

②会員の登録内容変更は、日本放射線技師会ホームページから変更手続きをお願い致します。施設変更・自宅住所変更・名前変更・技師会変更、(転勤された時も同様です)

インターネットが御使用になれない方は必ず F A X で茨城県放射線技師会へ送信して下さい。

茨城県放射線技師会事務所

F A X 0 2 9 - 2 4 4 - 6 7 6 7

《 編 集 後 記 》

東日本大震災では会員の皆様も大変苦労されたことと思います。電気、水道、ガスが止まるとこれ程までに日常生活に影響が出るのかと、改めて考えさせられました。また、福島第一原発は予断を許さない状態です。一刻も早い収束を願わずにはられません。

決算・予算総会ですが、延期して開催されます。忙しい時期とは思いますが、本会の重要な議案を決定する場です。例年参加者が少なく苦慮しているところです。用事等で参加できない方は、期限まで必ず委任状を提出くださいますようお願い致します。定数に満たない時は総会そのものが開催できません。ご協力よろしくお願いいたします。

編集委員：小原孝夫(多賀総合病院), 齋藤哲也(土浦協同病院), 島田雅彦(水戸済生会総合病院)、水木一弘(筑波大学付属病院), 佐々木雅一(日立総合病院), 奥山寿恵(日立総合病院)